

単元の構想（13時間完了）

<p>単元の流れ</p> <p>教科の活動</p> <p>風切るつばさの読み聞かせを聞き、物語のあらすじをつかむ。③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>感想を発表する。</li> <li>場面分けをして、それぞれの場面に小見出しをつける。</li> <li>小見出しの並び替えをして物語の順序をつかむ。</li> <li>新出漢字の練習をする。</li> </ul> <p>第1場面を読み取る。②</p> <p>【仲間がしんだ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クルルとカララ、むれの人などの関係を考える。</li> </ul> <p>※○○○だから○○○だと思いますという文型を使って発表させることで単文から複文で話すことができるようにする。</p> <p>★支援を得て物語文を読み、登場人物や場面について理解する力</p> <p>※場面ごとに読み取ったことをワークシートにまとめ、クルルとカララの心のきよりを心の中に貼らせることで、場面ごとの二人の関係を視覚的にも理解させる。</p> <p>第2場面を読み取る。②</p> <p>【仲間外れにされたクルル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仲間殺しの犯人のように扱われているときのクルルとカララの気持ちを考える。</li> </ul> <p>第3場面を読み取る。②</p> <p>【飛べなくなったクルル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>飛べなくなったクルルの様子を読み取る。</li> <li>カララが戻ってきた時のクルルの気持ちを考える。</li> </ul> <p>第4場面を読み取る。②</p> <p>【飛べるようになったクルル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クルルが空を飛べた時のクルルとカララの気持ちを考える。</li> </ul> <p>クルルの心情の変化を中心に物語の感想をまとめる①</p> <p>※児童の日本語の力を考えてライト文から心情を読み取ってきたが、最後に物語のキーセンテンスにもなる「風切るつばさの音が…」の文を教科書に戻って読むことで学習の充実感を味わわせたい。</p> <p>インドに渡った二人がどうなったか物語の続きを考える①</p>	<p>☆学習活動と予想される児童の反応</p> <p>★つけたい力（JSL 日本語）</p> <p>※日本語の支援</p> <p>☆「風切るつばさ」の題名からどんな物語か考えてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>つばさは asa のことだ</li> <li>つばさだから鳥の話かな</li> <li>飛行機のつばさもあるよ</li> </ul> <p>☆風切るつばさの物語を聴いて感想を発表しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クルルが飛べてよかった</li> <li>クルルとカララが仲直りできてよかった</li> <li>キツネに食べられなくてよかった</li> <li>南に飛んで行った二人はどうなったのだろう</li> </ul> <p>※日本語での理解が難しい A 児 B 児には個々の日本語のレベルに合ったライト文を読むことでおおまかなあらすじをつかませる。</p> <p>★文節や意味のまとまりで区切って読む力</p> <p>☆クルルに対するまわりの気持ちがわかる文を見つけよう</p> <p>かなしかったです くやしかったです みんなはきびしいです 何もいえませんでした</p> <p>だから → ・クルルが悪いと思われた</p> <p>★教科用語の入った短い文章を読んで、大意を理解する力</p> <p>★学習内容について複文を使いながら順序立てて話す力</p> <p>★自分の分からないことを聞き直したり尋ねたりする力</p> <p>☆クルルとカララの心のきよりがわかる文を見つけよう</p> <p>カララ</p> <p>クルル</p> <p>②だまっています</p> <p>・だからカララもみんなと同じなのだと思います</p> <p>③何も言いませんでした 何も言いませんでした じっととなりにいました</p> <p>・だからカララの気持ちは変わらないと思います</p> <p>④それをあいずにとび上がりました</p> <p>・だからクルルのことを考えていると思います</p> <p>※①と④のワークシートを比べることで、二人の心のきよりの変化を視覚的にも読み取らせる。</p> <p>④いっしょに行ってくれる？</p> <p>④もちろんさ</p> <p>二人の心のきよりが近づいたね</p> <p>☆クルルが飛べなくなったのはなぜか考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>みんなにうたがわれたから…と思います。</li> <li>カララからも冷たくされたから…と思います。</li> <li>自分がきらいになったから…と思います。</li> </ul> <p>☆クルルがまた飛べるようになったのはなぜか考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カララを助けたいから…と思います。</li> <li>カララと一緒にいてくれたから…と思います。</li> </ul> <p>☆ライト文「風をきるつばさの音が気持ちよかった。」の文をクルルの気持ちを考えて読もう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>気持ちよさそうに読もう</li> </ul> <p>☆教科書「風を切るつばさの音が、こちよリズムで体いっぱいひびきわたった。」の文をクルルの気持ちを考えて読もう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こちよいは気持ちがいいということだね</li> <li>うれしい気持ちで楽しそうに読もう</li> <li>体でリズムをとって読もう</li> </ul> <p>※「南に向かって飛んで行った二人はどうなったのだろう」という B 児の感想から、自由に物語の続きを考えさせることで物語を読む楽しさを感じさせたい。</p>	<p>★日常生活でよく使われる語彙や表現を使って話す力</p> <p>★簡単な日本語で自分の感想や考えを言う力</p> <p>※「モンゴル」「ヒマラヤ山脈」「インド」などを地図で確認する。</p> <p>※DLAの結果から教科書だけでは読み取りが難しいと考えられる C 児には、ライト文も併用して使うことで内容を読み取りやすくさせる。</p> <p>※読み聞かせの後、音読が上手な C 児に教科書の文を通読させ、物語のおおまかな内容を4つの段落に分けさせる。</p> <p>※リライト文の中から見つけさせるが、教科書から気持ちがわかる文を探したいという C 児の思いがあればそれを尊重する。</p> <p>※初めに群れとクルルの関係を考えることで、クルルの置かれた立場を明確にする。</p> <p>①クルルは体の弱いカララにえさをあげています</p> <p>・だから仲良しだと思います</p> <p>②味方は一人もいません 口をきいてくれません だれも信じられません 自分がきらいになりました みんなとなかよくできない くやし いやだ みんなとぶことがいやになりました</p> <p>・だからクルルの心は、はなれたと思います</p> <p>③とべなくなりました 体が上がりません じっとしていました</p> <p>・だからクルルの気持ちは変わらないと思います</p> <p>③「いっしょに行こう」と言ってもとばないつもりでした</p> <p>④クルルの心は少しずつやわらかくなりました 自分がとばないとカララもとばないのか カララをつきとばしてはばきました</p> <p>・だからカララのことを考えていると思います</p> <p>※①から④場面を通してクルルとカララの心情を読み取ることで、気持ちをこめて「いっしょに行ってくれる」「もちろんさ」の会話文を音読させる。</p>	<p>※ツルという言葉が日本語では知らないと思われる A 児 B 児には写真を見せて理解させる。</p>	<p>※DLAの結果から教科書だけでは読み取りが難しいと考えられる C 児には、ライト文も併用して使うことで内容を読み取りやすくさせる。</p>	<p>※読み聞かせの後、音読が上手な C 児に教科書の文を通読させ、物語のおおまかな内容を4つの段落に分けさせる。</p>	<p>※DLAの結果から教科書だけでは読み取りが難しいと考えられる C 児には、ライト文も併用して使うことで内容を読み取りやすくさせる。</p>	<p>※初めに群れとクルルの関係を考えることで、クルルの置かれた立場を明確にする。</p>
--	---	---	--	--	---	--	---